



2月末ごろ

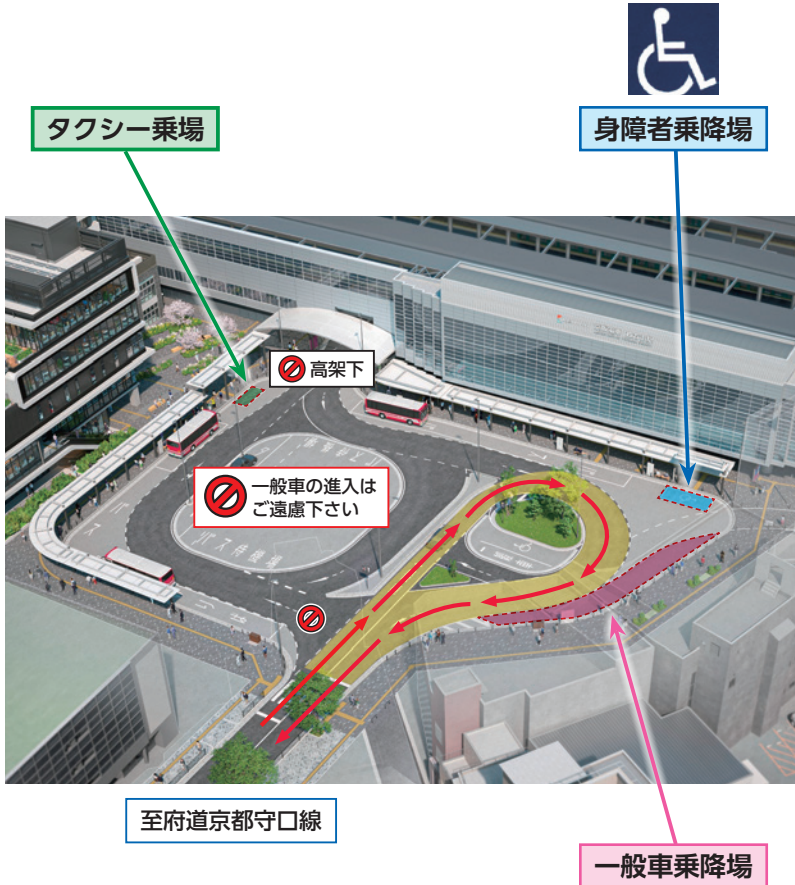
市駅北口駅前広場ロータリーの運用を開始 一般車は専用ロータリーのご利用を

市駅北口駅前広場の拡張工事が2月末ごろに完了を予定しており、これに伴い、ロータリーの運用が変わります。一般車は府道京都守口線から一般車ロータリーをご利用ください（赤色矢印の方向）。なお、高架下の通行は引き続きご遠慮ください。また、新たに送迎などに利用できる一般車乗

降場とタクシー乗場が設けられるほか、身障者乗降場の位置が変更となります。詳細は市ホームページ（下記コード）参照。



9 市駅周辺まち活性化部 ☎ 841・1364、FAX 841・3033



災害時に車両を無償貸与で連携

（株）スズキ自販関西、スズキ（株）と協定

市は12月23日、守口市に本社を置く（株）スズキ自販関西および静岡



写真提供：スズキ（株）

県浜松市に本社を置くスズキ（株）と「災害時に貸与する車両の無償貸与を受けるもの。同社の外部給電できる電気自動車（上写真）は停電した地域に電源を供給する非常用電源として活用することを想定しています。同協定により、市では非常時に車両や電源を確保し、災害対応力の強化につなげていきます。

● 総務管理課 ☎ 841・1323、FAX 841・3039

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集

農地の権利移動や転用許可、遊休農地の防止・解消業務など。▼対象など 平日昼間の農業委員会

総会などに出席でき（1）農業委員Ⅱ農業に関する識見があり委員会の職務を適切に行える人（2）農地利用最適化推進委員Ⅱ農地利用の最適化推進に熱意と識見がある人。定数は（1）14人（2）6人。任期は（1）7月20日から3年間（2）委嘱する日から（1）の任期満了まで。報酬は各月額

3万7000円。▼申込 2月2日（3月2日に市役所別館3階の農業委員会事務局にある推薦・応募用紙（募集要領とともに市ホームページから取り出し可）を同事務局へ。郵送（〒573-8666）可。詳細は募集要領参照。

● 農業振興課 ☎ 841・1348 FAX 841・1278、農業委員会事務局 ☎ 841・1534 FAX 841・2003



12月 定例会議会

補正予算案や人事案件など可決

令和7年12月定例会議会が12月19日に終了しました（12月5日の内容は1月号に掲載）。最終日の本会議では専決事項の報告が聴取されたほか、学校園施設改善事業経費や物価高対応子育て応援手当支給事業費などを含む一般会計補正予算などが可決されました。また「危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援等を求める意見書」など7件の意見書が可

決されました。さらに人事案件では、副市長に田中哲夫氏、固定資産評価審査委員会委員に大島大容氏の選任が同意されたほか、人権擁護委員候補者の推薦について、溝口直紀氏、渡辺道男氏、早川孝氏、中野恵永子氏が適任とされました。

問 市議会事務局議事調査課 ☎ 841・1528、FAX 841・0240



副市長に田中哲夫氏

市議会の同意を受け、田中哲夫氏が副市長に選任されました。任期は令和8年1月1日～11年12月31日の4年間。田中氏は昭和63年、枚方市に入職。財政課長などを経て、総合政策部長、子ども未来部長を歴任。55歳。

令和7年度包括外部監査

財務に関する事務の執行をチェック

今年度の包括外部監査のテーマは「枚方市と民間事業者その他の団体との『連携』に係る財務事務の執行について 非営利セクターの拡大を踏まえた行政サービスのアップデートの観点からの検証」で、合规性や経済性などの観点か

ら指摘や意見を受けました。今後、これらの指摘を踏まえ、市として必要な対応を行います。詳細は市ホームページ参照。

問 コンプライアンス推進課 ☎ 841・1294、FAX 841・3039

市政にあなただの意見を

インターネットアンケート

令和8年度

市食品衛生監視指導計画（案）

食品の安全性確保と食品衛生に関する正しい知識の普及を図るための計画案。意見は市ホームページの専用フォームまたは

案設置場所の意見回収箱へ。▼
実施期間 2月5日（木）～27日（金）
▼案設置場所 市役所本館・別館受付、市保健所、まるっとこどもセンター、各支所など。

問 保健衛生課 ☎ 807・7624、FAX 845・0685

伏見市長の情熱日記

子育てしやすいまち、枚方



枚方市は子育て支援を重点施策の一つに掲げており、「共働き子育てしやすい街ランキング2025」では関西4位（全国16位）に入るなど、本市の子育て環境が高く評価されています。

今後も子育てしやすいまちとしてさらに発展するためには、サービスの充実と合わせ、それを担う人材の確保が欠かせません。保育を利用したい方がまだまだいる中、8年度以降は国が進める「こども誰でも通園制度」も始まるため、保育に携わる人がさらに必要となります。そこで、本市では保育士を対象とした就労支援「ちょこっとほいく」を開

始（5ページ参照）。フルタイム勤務が難しい方にも無理なく働いていただけるのではないかと期待しています。あわせて、保育士として就職を考えている方と保育所等をつなぐマッチングの実施や、私立保育園に対し、給与の上乗せ分を支給するなど市独自の処遇改善策も行っています。

私自身、2人の子の父親として子どもの成長の早さを実感しています。子育て中の方は“大変”と“楽しい”が入り混じる日々だと思いますが、親子で過ごすかけがえのない時間を笑顔で楽しんでいただければ、子育て支援をさらに充実していきます。